

立ち止まり対話するための助成金「AKBN（アケボノ）ファンド」  
第 6 期助成事業報告書（一般社団法人ひだまり）

1. 振り返りエッセイ

法人設立から約 1 年が経ち、法人としての活動に試行錯誤する日々を送る中で、知人からアケボノファンドを紹介されました。締め切り間際でしたので、可能性は低いと思いつつも、藁をも掴む思いで申請しました。採用通知を頂いたときには、濁流の中から救い出されたような思いがしました。そして、スタッフ、関係者が目標をもって立ち止まれることに、ある種の夢と希望をもって、勉強会的ミーティングが始まりました。

メインは、マンパワーに頼っていた会計作業を、誰でもが安心して継続できるようにするための会計ソフトの選定及び会計基本の学び直しです。加えて、個人の PC ではなく、法人としてパソコン及びプリンターを購入して、いつでもスタッフが使用できるようにし、情報を共有できるようにしました。

会計ソフトを活用するための打ち合わせを何度も行いました。雪松さん、白神さん、税理士の末吉さんに足を運んでいただき当法人の現状から会計ソフトの活用方法等を一緒に考えていただけたことは、大きな支えでした。そのおかげで、会計作業のみならず活動内容全般をスタッフ全員で再確認することができました。その後、ソフトを实际使いこなせるようになるために、PC スキルの高い方等、いろいろな方に協力いただきました。このつながりも、アケボノファンドがあればこそ！

おかげさまで、法人としての活動に、少しずつですが、知識と安心とつながりを持つようになってきましたし、マンパワーに頼っていた事務作業、会計作業を、事務局として情報共有、作業分配できるようになってきました。そして、昨年初めてアカツキの皆さんとお会いした時から、少しずつですが、地域の中での活動を広げていっています。活動の広がりとともに、事務作業、会計作業は増えてきましたが、今回経験した『立ち止まり対話する』ことを忘れずに、歩み続けていきたいと思えます。前を向いて共に歩み始めた私たちが時々見に来ていただけたら幸いです。

ありがとうございました。

## 2. 支出報告書

決算会計報告		
種別	内容	収入金額
■本助成金	AKBN ファンド想いと向き合う or 数字と向き合う（選択）	200,000
■その他	団体自己負担金	508
費目	対象・使途・目的・内訳（具体的な詳細を記入）	支出金額
■会議（飲食）費	取り組み当日の茶菓子代	2,382
■消耗品費	ノートパソコン（会計・事務局）	74,800
	プリンター（A3対応・配布物等作成）	28,973
	インク（プリンター用@4,855×2）	9,710
	会計ソフト（ソリマチ）	39,490
	コピー用紙（プリンター用用紙）	1,153
■旅費交通費	取り組み当日の事務局交通費（@1,000×38）	38,000
	役所関係への交通費（市財務政局・税務署等）（@2,000×3）	6,000
合計金額		200,508

## 3. 助成プログラムへのフィードバック

費用の対象の幅が広いこと、助成金額が多いことは、とてもありがたいプログラムでした。そして、専門的な知識や外部の視点から伴走支援していただけたことは、大きな支えになりました。しかし、準備、知識、情報が不足していたことで、伴走支援を十分に活かせなかったような思いが残り、悔やまれます。助成期間の計画を立てる段階の私たちの未熟さが原因です。計画を立てる段階で、助成期間の目標をもっと可視化できていたら、最終段階に伴走支援していただくことで不安を軽減することができるのではないかと考えています。

助成期間終了前に、最後の伴走支援を組み込んだプログラムを希望します。